

簡易版スキンケアにおける因果の法則

スキンケアの因果関係では、紫外線による活性酸素や乾燥した空気、合成界面活性剤配合の化粧品、加齢などの影響で皮膚のバリア機能が壊れると、機能低下『バリア機能喪失・角質水分保持力低下・耐性機能低下・肌自力修復・再生の機能不全』を引き起こし、その結果として乾燥やかゆみなどの症状が現れます。

●今、特定の症状で悩んでいるということは、その特定の症状が何であれ、はっきり言えることは以下の通りです：

皮膚バリアが壊れ、

1. バリア機能が失われている→水分蒸散・異物侵入の防止力低下
2. 角質の水分保持力が低下している→乾燥肌
3. バリア機能と角質水分保持力が低下すると、外部からの刺激に対して非常に弱く、耐性機能が低下→敏感肌
4. ターンオーバーが乱れている→自力修復・再生不能

なお、皮膚バリアが壊れた原因として、紫外線による活性酸素、乾燥した空気、合成界面活性剤配合の化粧品や洗剤、加齢などが考えられます。

●例えば、メイクのノリが悪い場合、皮膚バリア崩壊が原因
スキンケア因果の法則で解説できます。因果の連鎖を断ち切るために、因果の連鎖を知り、理解することです。

肌のキメの乱れや凹凸、滑らかさの欠如が気になるとき、皮膚バリアを修復・強化し、バリア機能と角質水分保持力を高めるケアが非常に重要です。これらのケアをしっかり行うことで、メイクのノリが良くなります。

肌のバリア機能が損なわれていると、水分の蒸発が進みやすく、乾燥や外部刺激に対する耐性力が低下します。リノール酸含有の合成界面活性剤不使用のエマルジョン化粧品で皮膚バリアケアをしっかりと行い、皮膚バリアを強化することで、肌の滑らかさやキメが整い、メイクのノリを良くなり、化粧映えします。また、定期的なピーリングの使用も効果的です。